

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	1
事業名	環境衛生経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-2 自然環境の保全				
主要施策	①環境保全意識の高揚		②環境保全活動の促進		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催した。 また、町内の環境美化運動を実施した団体に報償金を交付するなど、まちづくりの美化活動が活発に行われるよう継続して支援した。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					2,586		2,663	5,688	
財源内訳	直接事業費 A				2,586		2,663	3,312	
	うち一般財源				2,586		2,663	3,312	
人件費(千円) B					0		0	2,376	
内訳	一般職員(人・千円)				0		0	0.36	2376
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	役場主導でなく、市民活動団体のように自ら活動できる団体になれるよう、新しい役員と運営できるよう努めていく。
②H30年度に実施した取り組み	三和小において環境子ども特別教室として水切りの実演。地域の環境美化向上・不法投棄等禁止啓発活動として、環境美化デーごみゼロ運動。ごみの減量と資源の保護を目的として実施しているリサイクルバンク。資源の有効活用として東員フリーマーケット。第13次委員より町長への提言を行う。	④今後の改善計画	活動自体がマンネリ化してきているが、活動の意味を委員全員で考え、町内の環境美化に努めていく。また、提言書の回答を基にそれぞれの部会で話し合い、クリーン作戦委員が活躍いただける方策等を検討する。